

速網
高算
超計

「得意な計算」割り振り

基幹ソフト 阪大が開発

大阪大学蛋白質研究所 フトを開発した。それぞれ 動を模擬する仮想実験室

の中村春木教授らは、多 数のスーパーコンピューターを結んだグリッドコ ンピューティング(超高 速計算網)向けの基幹ソ

フトを開発した。それぞ 動を模擬する仮想実験室

つくりを目指す。 開発したのは、基本ソ

処理するソフト。異なる プログラム間でデータを 円滑にやりとりできるよ

う計算手順(アルゴリス ム)を独自の手法で記述 した。 NEC基礎研究所が開 発したプログラムと、阪 大と産業技術総合研究 所、日立製作所、富士通 が共同開発したプログラ

ムを動かした。NEC基 礎研のソフトはたんばく 質などの分子の性質の予 測、阪大などは複数のの 原子や分子の振る舞いを 解析するのが得意で、両 者の長所を引き出した。

グリッドコンピューテ ィングは複数のコンピュ ーターをインターネット で結んで高速計算させる 技術。阪大は二〇七年 をめどにこれを応用した 仮想実験室を作り、新薬 の開発や病気の臨床診断 への応用を目指す。文部

科学省のITプログラム の一環として開発した。